

高美小学校内 TM だより

R8.1.26.NO.27

1 年 1 組の算数の授業におじゃましました。

★目的意識をもたせる工夫★

「大きなかず」の 1 時間目でした。本時では、導入でぐっと引きつける工夫がされていました。2 月に予定している「新一年生との交流会」でお店屋さんごっこをするそうです。本単元では、ただ大きなかずについて学習するのではなく、「お店屋さんごっこをするために必要な材料を準備しよう」という目的をもって学習することで、自ら学びに向かう姿勢にアプローチされていました。井口先生が材料を提示し「今まで使ったやつの余りを集めただけやから数がわからへんねん」と伝え、「ほんなら数えたらええやん！」と多くの子が答えていました。そんな声を拾い上げながら「じゃあ最初は数えることから始めようか」と、単元の計画を子どもたちと立てておられました。

①かぞえる ②かずをいう ③かずをかく ④かずのおおきさがわかる ⑤お金をつかう という、大まかな学習計画を共有することで、見通しをもつことができる子が増え、意欲の高まりにつながっているように感じました。

★はなまるもんだいい★

単元の計画を立て、ほかに気になることや、材料の種類について話した後、「はなまるもんだいい」に取り組みました。「はなまるもんだいい」はその時間の学習内容に対して、どれだけ理解が深まったかを見取るために学年で用意しているものです。本時では、これからできるようになりたいこと、がんばりたいことについて書くように設定されていました。「みんなでおなじかずとぐるーぶでわかる」「かずをかぞえられるようになりたい」「おおきいかずをはやくいえるようになりたい。ほかにも、おおきいかずをかけるようになりたい。みんなががんばるぞー。」「いっぱいかぞえたい」などなど、本単元に向けたそれぞれの思いを書き表すことができました。

～まとめ～

「やらされる学習」ではなく「自分から進んでやる学習」をめざすにあたり、目的意識をもたせることが非常に重要であるということは、今年度の研究で得られた学びの一つです。交流会を成功させたい、新一年生に喜んでもらいたい、という意識が、算数の学習意欲にもつながりました。お店屋さんごっこをするので、必然的に材料を数えるだけでなく、単元の後半で出てくる、「お金の出し方」についても考えることになります。子どもたちは高い意欲をもち続けたまま学習に取り組むことができるのではないかと感じました。井口先生、1 年 1 組のみなさん、ありがとうございました。



はなまるもんだいい

名まえ ()

『大きなかず』の学しゅうで、

- ・できるようになりたいこと
- ・がんばりたいこと

をかきましょう。

